

## 実践報告1

# 英語によるディスカッションのパフォーマンス評価

—生徒の社会的な話題について英語でやり取りできる力の向上を目指して—

愛知県立中村高等学校 教諭 池田 達哉

## 1 はじめに

本校は各学年8クラスからなる全日制普通科の高校である。学校の特色として、オーストラリア姉妹校との交流をはじめとする国際理解教育に力を入れている。平成25年度より「あいちスーパーイングリッシュハブスクール」に指定されており、令和元年度から国際理解コースが設置されている。本校生徒の英語学習に取り組む態度は前向きであり、英語を流暢に話せることを目指している。英語の授業では、さまざまな言語活動を取り入れ、生徒の学習動機を高めることができるように工夫している。

## 2 実践の目的

令和4年度から施行される高等学校学習指導要領において、「話すこと [やり取り]」の力の育成が強調されている。やり取りを中心とする言語活動は、ディベートやディスカッションであるが、ディベートと比較すると、ディスカッションの捉え方には幅があり、その指導方法や評価方法は目的や状況によってさまざまである。今後、ディスカッションの機会が更に増加する可能性が高い現状を考慮すると、さまざまな文脈におけるディスカッションの指導及び評価に焦点を当てた実践がよりいっそう求められる。

また、私が教科担当をしている国際理解コースの3年生は、身近な話題についてやり取りすることは得意であるが、社会的な話題になると苦手意識を抱く傾向がある。これは、社会的な話題に関する背景知識及び英語で論理的に意見を構築する訓練が不足している可能性があると考えている。また、やり取りする力を向上させるためには、英語でディスカッションする機会を増やす必要もある。

このような背景から、本実践は、国際理解コース3年生を対象にした学校設定科目「グローバル英語Ⅲ」にて、社会的な話題についてやり取りする力を育成する指導及び評価の在り方を検討及び実践する。加えて、本実践で得られた結果を分析し、その指導と評価の有効性について考察する。

## 3 単元の指導計画

### (1) 教材

ア 教科書：Prism Reading 2（ケンブリッジ出版）

イ 単元：Unit 5 Health and Fitness

### (2) 単元の目標

ア 読むことにおける目標

健康とフィットネスをテーマにした英文の記事及びエッセイを読み、健康の重要性について理解することができる。また、記事やエッセイの内容について、批判的に分析及び評価することができる。

イ 話すこと [やり取り] における目標

社会的な話題（健康とフィットネス）について、聞いたり読んだりした内容を活用しながら、基本的な語句や文法を用いて、意見を論理の構成や展開を工夫してディスカッションできる。

(3) 関係する領域別目標（本校3学年次のCAN-DOリストから関連するものを抜粋）

読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で扱った英文を読み通して理解できる。</li> <li>・600語程度の英文を読み、その要点や内容の繋がりを理解できる。</li> </ul>
話すこと [やり取り]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読んだり聞いたりした内容をまとめて、他者に伝えることができる。</li> <li>・読んだり聞いたりしたことについて、自分の考えや意見を他者に伝えられる。</li> </ul>

学校設定科目「グローバル英語Ⅲ」の目標が「読む」及び「話す」に関連していることに鑑み、本実践は「読むこと」及び「話すこと【やり取り】」に焦点を当てる。

(4) 単元の評価規準（五つの領域ごとの評価規準の設定）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<p>&lt;知識&gt; 文章の内容を把握するために必要な語彙・文法を理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; 健康とフィットネスをテーマにした文章の内容を理解するために必要なリーディングスキルを身に付けている。</p>	健康とフィットネスをテーマにした記事とエッセイを読んで、概要や要点、詳細を理解している。	健康とフィットネスをテーマにした記事とエッセイを読んで、概要や要点、詳細を理解しようとしている。
話すこと [やり取り]	<p>&lt;知識&gt; 単元で扱った英文の内容を正確に理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; 自分の意見を論理的に述べるために必要な語彙・文法を身に付けている。</p>	社会的な話題（健康とフィットネス）について、読んだ内容を活用しながら、理由や具体例を用いて論理的に自分の意見を述べている。また、相手の意見に応じて、賛成・反対の論理の構成を工夫して、ディスカッションしている。	社会的な話題（健康とフィットネス）について、読んだ内容を活用しながら、理由や具体例を用いて論理的に自分の意見を述べようとしている。また、相手の意見に応じて、賛成・反対の論理の構成を工夫して、ディスカッションしようとしている。

(5) 言語活動を中心とした指導と評価の計画

※本実践研究は5～7時限目のパフォーマンス評価に焦点を当てる。

時間	ねらい、学習活動	評価の観点			指導上の留意点
		知	思	主	評価規準（評価方法）
1	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に関する背景知識を活性化させる。</li> <li>・新出単語の意味を確認する。</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「健康習慣」をテーマにした質問について、ペアで意見交換する。</li> <li>②新出単語を含む例文の意味を確認する。</li> <li>③新出単語の定義を確認する。</li> <li>④写真を見て、何のエクササイズについて描写されているかを考える。</li> </ol>	指	生	な	一

2	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つ目の文章の概要及び詳細を把握する。</li> <li>・推論及びスキミングのリーディングスキルを学習する。</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教科書のタスクを通して、文章全体のトピックを把握する。</li> <li>②教科書のタスクを通して、各パラグラフの概要を把握する。</li> <li>③教科書のタスクを通して、文章の詳細を把握する。</li> <li>④推論のリーディングスキルを学習する。</li> <li>⑤文章の内容を深めるための、問題に答える。</li> </ol> <p>ペア及びクラス全体で意見を共有する。</p>		○	○	<p>【評価方法】 [思][主]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後日、生徒が授業で使用しているノートを観察する。</li> <li>・予習及び授業でどれだけ学習できているか、また、自学自習において、どれだけ主体的に学習できているかを評価する。</li> </ul>
3	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語の意味を確認する。</li> <li>・スキミングのリーディングスキルを身に付ける。</li> <li>・食事に関する背景知識を活性化させる。</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①新出単語を含む例文の意味を確認する。</li> <li>②新出単語の定義を確認する。</li> <li>③教科書のタスクについて、ペアで意見交換する。</li> <li>④スキミングのリーディングスキルを用いて、教科書のタスクの答えを探す。</li> </ol>	<p>指導に生かすことは行わない。ただし、残り評価は行わない。生徒の活動の状況を見届けて</p>			<p>【指導上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が言語活動に積極的に取り組んでいるかを観察する。</li> <li>・教員と生徒ができるだけ英語でやり取りできるように発問の仕方を工夫する。</li> </ul>
4	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つ目の文章の概要及び詳細を把握する。</li> <li>・推論及びスキミングのリーディングスキルを学習する。</li> </ul> <p>【学習活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①教科書のタスクを通して、各パラグラフの概要を把握する。</li> <li>②教科書のタスクを通して、ノートテイキングのリーディングスキルを学習する。</li> <li>③教科書のタスクを通して、文章の詳細を把握する。</li> <li>④文章の内容理解を深めるための問題に答える。</li> </ol> <p>ペア及びクラス全体で意見を共有する。</p>		○	○	<p>【評価方法】 [思][主]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後日、生徒が授業で使用しているノートを観察する。</li> <li>・教科書の言語活動に取り組んでいるかに加え、文章の内容理解を深めるための問題に対して、自分の意見が十分に書いているかどうかを確認する。</li> </ul>
5 6 7	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスカッションを通して批判的思考能力を養う。</li> <li>・以下の質問について、自分の意見を論理的に相手に伝える。</li> </ul> <p>“Which is more important for good health: a regular exercise program or a balanced diet?”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の意見を聞いて、それに対して自分の意見を論理的に述べる。</li> </ul> <p>※パフォーマンスを評価する。</p> <p>【学習活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①パフォーマンス評価の概要を生徒に伝え、事前指導を行う。事前指導では、OREOの考え方を活用して、英語で論理的に意見を構築するための訓練をする。</li> </ol>	○	○	○	<p>【評価方法】 [知][思][主]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パフォーマンス評価を行う。</li> </ul>

	②英語で論理的に意見を述べる方法を指導する。 ③3人一組のグループで、与えられた質問に対する自分の意見を述べる。また、相手の意見を聞いて、それに対して自分の意見を述べる。				
後日	・ペーパーテストを実施する。	○	○		【評価方法】[知][思] ・定期考査を通して、指導計画の1～4時間目に該当する学習成果を[知][思]の観点に焦点を当てて評価する。

#### 4 パフォーマンス評価の計画

##### (1) パフォーマンス評価におけるタスクの設定

先に示したように、本実践で扱う単元のテーマは“Health and Fitness”である。教科書の中に、読んだ記事の内容を踏まえ、“Which is more important for good health: a regular exercise program or a balanced diet?”の質問に対して自分の意見をペアで伝え合うという言語活動がある。生徒にとって興味をもちやすいテーマであると判断し、このタスクをパフォーマンス課題として選んだ。この質問について、生徒は3人のグループでディスカッションする。

ディスカッションの流れは、まず、グループの全員が自分の意見を述べる。この段階で、生徒は、a regular exercise program か a balanced diet のどちらが健康にとって重要であるかについて、自分の意見及びその根拠を論理的に述べるのが求められる。次に、8分間のフリーディスカッションの時間が与えられる。ここでは、生徒は自由にディスカッションすることができる。お互いの考えに対して自分の考えを伝え合い、質問に対する考えを深めていくことが大切である。最後に、ディスカッションを踏まえ、再度自分の意見を述べる。自分の意見が最初の発言から変わってもかまわない。また、グループとして一つの結論を出す必要はない。

##### (2) ルーブリックの作成

###### ア 評価の領域

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 基準	<知識> ・単元で扱った英文の内容を正確に理解している。 <技能> ・自分の意見を論理的に述べるために必要な語彙・文法を身に付けている。	・自分の意見を理由や具体例を活用して、論理的に意見を述べている。 ・相手の意見に応じて、賛成・反対の論理の構成を工夫して、ディスカッションしている。	・自分の意見を理由や具体例を活用して、論理的に意見を述べようとしている。 ・相手の意見に応じて、賛成・反対の論理の構成を工夫して、ディスカッションしようとしている。
a	<知識> ・単元で学習した内容を踏まえて自分の意見を述べている。 <技能> ・語彙・文法を正確に用いて自分の意見を述べている。	・さまざまな観点から、理由や具体例を十分に活用して、論理的に意見を述べている。 ・相手の意見に応じて、賛成・反対の論理の構成を工夫して、ディスカッションしている。	・さまざまな観点から、理由や具体例を十分に活用して、論理的に意見を述べようとしている。 ・相手の意見に応じて、賛成・反対の論理の構成を工夫して、ディスカッションしようとしている。

	6点	6点	3点
b	<理解> ・単元で学習した内容を踏まえて自分の意見を述べている。 <技能> ・ある程度正確に語彙・文法を用いて自分の意見を述べている。語彙や文法の間違いがあっても内容が相手に伝わっている。	・自分の意見を理由や具体例を活用して、論理的に意見を述べている。 ・相手の意見に応じて、賛成・反対の論理の構成を工夫して、ディスカッションしている。	・自分の意見を理由や具体例を活用して、論理的に意見を述べようとしている。 ・相手の意見に応じて、賛成・反対の論理の構成を工夫して、ディスカッションしようとしている。
	3点	3点	2点
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。
	1点	1点	1点
15点満点			

イ 実際に使用したルーブリック

上記の評価の領域で示された評価規準を踏まえ、実際にパフォーマンスを評価する際に用いるルーブリック【資料1】を作成した。評価はALTと私の二人で行うため、ALTがルーブリックの詳細を理解できるように評価の領域で示された評価規準の説明を英語で記述した。

ALTと評価規準を確認した結果、知識・技能 (Knowledge / Language skill) と主体的に学習に取り組む態度 (Attitude toward participating in the discussion) の項目は、お互いに評価規準を明確にすることができた。一方、ルーブリックにおける思考・判断・表現 (Cognition / Judgement / Expression) の項目に関しては、評価の領域で示された採点基準では、a, b, cの区別をすることが難しく、より分析的な採点基準が必要であると判断した。協議の結果、生徒が述べた意見において、五つ以上の異なる観点を含んでいる場合は評価a、三つまたは四つの異なる観点を含んでいる場合は評価b、評価bの採点基準を満たしていなければ評価cと判断することにした。

【資料1 パフォーマンス評価のルーブリック】

	Knowledge / Language skill	Cognition / Judgement / Expression	Attitude toward participating in the discussion
a	< Knowledge > Their ideas are linked with what they learned in the Unit. < Language skill > They argue their ideas with accurate or appropriate vocabulary and grammar.	Their opinions are logically supported by clear reasons and examples. They give <u>five distinct points</u> . ※If their ideas are supported by only personal experiences, they do not qualify to get an “a.” They express agreement or disagreement effectively when responding to others.	They willingly try to express themselves and their opinions. They make great efforts to respond to the opinions of others.
	6	6	3
b	< Knowledge > Their ideas are linked with what they learned in the Unit. < Language Skill > They argue their ideas with moderate accuracy. Errors don't affect the understanding.	Their opinions are logically supported by clear reasons and examples. They give three to four distinctive points. ※Only personal experiences are not acceptable. They express agreement or disagreement effectively when responding to others.	They try to express themselves and their opinions when asked. They make very little efforts to respond to the opinions of others.
	3	3	2

c	Doesn't meet the criteria for a and b at all.	Doesn't meet the criteria for a and b at all.	Doesn't meet the criteria for a and b at all.
	1	1	1
Total 15 points			

#### ウ 評価手順

パフォーマンス評価の信頼性を担保するためには、二人以上の評価者による評価が望ましい(Brown, 2012)。よって、本実践はALTと私の二人で評価することにした。生徒がディスカッションしている間、評価者はファシリテーターとしてディスカッションを進行しなければならないため、全てのグループがディスカッションを終えてから評価する。評価する際は、録画及び録音された音声データを用いて、二人の評価者がそれぞれ全てのパフォーマンスを評価する。また、評価の信頼性を高める工夫として、評価者が実際の評価を始める前に、生徒数名のパフォーマンスをサンプルとして評価し、ルーブリックの妥当性及び信頼性について評価者内で協議する。全ての採点を終えた後は、二人の評価結果を集計し、その平均を生徒に与える素点とする。二人の評価結果の平均によっては、6、3、1点以外が素点として与えられる場合もある。小数点以下は切り捨てることにする。

### (3) パフォーマンス評価の実施方法

#### ア 事前指導

事前にパフォーマンス評価の概要及びルーブリックを生徒に提示する。生徒は与えられた質問について、自分の意見をまとめておく。生徒の自律的な学習を促すために、独力で準備をするように伝える。担当教員は、生徒の事前準備に対して支援を与えない。

本ディスカッション活動は、生徒が社会的な話題について論理的に自分の意見を述べる力を育成することを主たる目標にしている。しかし、本校の多くの生徒が、英語で論理的に意見を述べるのが苦手である。具体的には、自分の意見に対して理由と具体例を論理的に述べるができない。そこで、授業の中でOREOを用いた指導を試みる。OREOとは、英文エッセイ特有の文章構成を、Opinion「意見」、Reason「理由」、Example「具体例」、Opinion「意見(再提示)」のように簡略化したもので、主にライティング指導において活用されている。本校生徒を対象にした英語検定試験対策講座にて、OREOを用いてライティング及びスピーキング指導を行った際に、論理力を高める上でその効果があると実感できたため、本実践においても活用したい。

また、聞き手への指導として、ディスカッションの間、話し手の内容の中で大切だと思うキーワードをメモしながら話を聞くこと、また、自分が次に話し手になるという意識をもたせて、相手の話す内容に注意して聞くことが大切であると伝えた。

#### イ 当日の流れ

当日は、通常の授業と同じように、視聴覚教室に集合する。授業が始まったら、教員がくじを引いてグループを決める。今回は、同時に二つのグループがディスカッションを行う。一つのグループは、視聴覚教室の隣にある準備室にて、ALTが司会を担当する。もう一つのグループは、教室の廊下にて、私が司会を担当する。選ばれた生徒はディスカッション用ワークシート【巻末資料1】を持参する。

ディスカッション中は、その様子を録画(タブレット端末を用いる)及び録音(ICレコーダを用いる)する。タブレット端末の録音機能の性能はそれほどよくないため、ICレコーダも同時に使用することにした。

さきほど述べた流れに沿って、司会者はディスカッションを進行する。司会者は、進行を進めるだ

けでディスカッションには参加しない。生徒はディスカッション用ワークシートにメモを取ってもよい。ディスカッションが終了したら、教室へ戻り、再度くじを引き次のグループを決める。10グループがディスカッションを行うので、2時間を配当する。もし、テスト当日に欠席者がいる場合は、その次の授業で実施する。視聴覚教室で待機している生徒は、各自授業の予習や英語の学習に取り組むように指示する。パフォーマンステストを終えた生徒は、アンケート【巻末資料2】に回答する。

## 5 実践の結果と考察

本項では、実践の結果を踏まえて、OREOを活用した指導と、生徒のディスカッションに対する取組の有効性を考察する。次に、パフォーマンス評価の実践を踏まえ、本実践における評価の在り方を検討する。最後に、パフォーマンス評価の結果及び事後アンケートの結果を分析し、本実践の有効性について考察する。

### (1) OREOを活用した指導

事前指導におけるOREOの指導は、以下のスライド【資料2】を用いた。まず、【資料2-スライド1】で、OREOの考え方について説明した。次に、時事的なテーマに関して意見を述べる問題に対して、OREOを活用して、論理を構築するトレーニングを行った【資料2-スライド2】。他の問題もいくつか提示しながら、論理的に英語を話す訓練を行った。生徒の活動を観察すると、自分の意見の後に理由を述べることができない生徒が多いことに気付いた。例えば、【資料2-スライド2】のNo.4の問題において、“Yes, I think so. Today, many people use plastic bottles...and...I use plastic bags in a supermarket...so, I think...it is good.”という答えがあった。Today以降の発言は、I think soの理由としては説得力に欠けている。なぜplastic bottlesが将来もっと使用されるようになるのかに対して、自分の意見をサポートする理由が論理的に述べられていない。「多くの人も自分もペットボトルを使用しているから」だけでは、ペットボトルの利点が明確に伝わらない。このように、具体例が論理的に主張をサポートできていないという事例が、他の生徒でも同様に見られた。

この問題を解決するために、【資料2-スライド3】を用いて、理由を述べる際に役立つ表現及び語彙を指導した。自分の意見を述べた後に、“It is ～to do for・・・”という表現を使用して理由を加える。また、社会的な話題についてやり取りする際に、理由を述べる上で役に立つと思われる形容詞を肯定的な意味と否定的な意味で分類したリストを提示した。最後に、別の問題を与え、OREOを活用させて、即興で自分の意見を述べるトレーニングを行った。

### 【資料2 OREOの指導で用いた授業用スライドの例】

OREO	
Opinion	意見
Reason	理由
Evidence	根拠・具体例・補足説明など
Opinion	意見
	パラフレーズ

【資料2-スライド1】

No. 4 Do you think drinks in plastic bottles will be more popular in the future?	
Opinion	Yes, I think so. No, I don't think so.
Reason	ReasonとEvidenceのセットを2回、3回、4回と続ける！
Evidence	Plastic bottles are... Also... / Moreover...
Opinion	For example, .... 関連したことをガンガン話せ！！
	For these reasons, I think .... / That's why I think ....

【資料2-スライド2】

It is 形容詞 to / for ～.	
It is 形容詞 to do. It is 形容詞 for ～ to do.	
<Positive>	<Negative>
important, easy, beneficial, convenient, useful, helpful, eco-friendly, realistic, popular, economical, safe, exciting, creative, effective, efficient, new, good, cheap, clean, fun	difficult, hard, harmful(to), time-consuming, dangerous, unrealistic, boring, inefficient, cost too much(expensive), bad(for), useless, pointless, troublesome, dirty

【資料2-スライド3】

### (2) 生徒のディスカッションに対する取組

ディスカッションに対する生徒の取組を振り返ると、多くの生徒に緊張の様子が見られたが、全体を通して良好であったと思われる。それぞれが自分の意見を述べるタスクにおいて、多くの生徒が十分に事前準備をしており、教科書で学習した知識を活用し、自分の意見を論理的に述べていた。フリーディスカッションでは、即興で流暢に自分の意見を話す生徒もいれば、自分の意見を述べることに

時間を要する生徒もいた。自分の意見を言えずにいるメンバーに対しては、質問を投げかけて発言させようと試みる生徒もいた。他のメンバーとのやり取りを踏まえ、改めて自分の考えを述べる最後のタスクでは、最初に決めた自分の立場を変える生徒はいなかった。しかし、たとえ最初に発言した立場と同じであっても、ディスカッションを通して、他のメンバーから得た考え方や知識を、自分の意見の理由や具体例として効果的に活用する生徒もいた。実際のディスカッションのやり取りの例を【巻末資料3】に示しているので参照されたい。

### (3) OREO を活用した指導と生徒のディスカッションに対する取組に関する考察

本実践は、生徒が社会的な話題について英語でやり取りできるようになることを目指している。英語による論理的思考力を身に付けるために、OREO の指導を実践した。多くの生徒が、訓練を通して、意見を述べた後に理由や具体例を展開することができるようになったと思われる。ディスカッションの実際【巻末資料3】を見ると、生徒A、B、Cのどの生徒も、自分の意見を述べた後に、その理由を付け加えたり、補足説明を述べたりしていることが分かる。【巻末資料3】から、生徒が意見(Opinion)の後に理由(Reason)や具体例(Example)を述べている例を一部抜粋し、以下に紹介する。

#### 例1)

C: I think the food delivery service is more commonly these days. 【Opinion】

Many young people like order junk food. So it uh...become difficult to eat balanced diet.

【Reasons】

#### 例2)

B: Uh...before starting doing exercise ...I think you should be careful about getting injured.

【Opinion】

For example, when you jog in the street, you should be careful about the street and you have to tie your shoes tight in order to avoid from injured. 【Example】

他のグループでも同様に、OREO の論理展開に基づいた意見が多く見られた。これらの状況から、OREO の指導は英語の論理を身に付ける上で効果があったと言える。

### (4) パフォーマンス評価の実際と振り返り

パフォーマンステストを終えた後、ALTとJTE(以下「私」と表記)でそれぞれ評価した。評価の計画に沿って、4名の生徒のパフォーマンスを二人で評価し、採点基準をすり合わせた。生徒が発言した内容をどのように一つの意見として見なすべきかについて重点的に確認した。

評価の際は、ビデオカメラで撮影した動画とICレコーダで録音した音声を用いた。しかし、ALTが担当したグループの一つで、ICレコーダによる音声が記録されていなかった。よって、タブレット端末のデータのみを使用した。音声が聞き取りにくかった。他のグループも同様に、タブレット端末の音声の質がよくなかった。タブレット端末による映像とICレコーダの音声を同時に使用して評価することにした。また、全てのパフォーマンスを評価するのに、4~5時間ほど費やした。

これらの実践を顧みると、ディスカッションの評価において、情報機器の入念な準備が大切であると改めて気付かされた。丁寧に評価すれば、それだけ評価の信頼性の向上が期待できる。しかし、その一方で、ディスカッションの評価には、多くの時間を要するというデメリットもあるということを感じた。今後、ディスカッションの効率的な評価手法を確立することは重要な課題となるだろう。

### (5) パフォーマンス評価の結果と考察

ア パフォーマンス評価の結果

【資料3】はALTと私が生徒のパフォーマンスを評価した結果の詳細である。生徒のパフォーマ

ンスに対するALTと私の評価は、概ね似たような結果になった。Knowledge（知識・技能）の評価結果は、5名の生徒に対する評価結果が異なった。これは生徒の英語の正確さについて、ALTと私の評価結果が異なったためである。Cognition（思考・判断・表現）については、生徒2名に対する評価結果が異なった。これは生徒の意見の数の捉え方がALTと私で異なったためである。Attitude（主体的に取り組む態度）については、全員が積極的に取り組んでいたため、ALTと私の評価結果に相違はなかった。

【資料4】は、ALTと私による評価の最終得点を示している。平均点は11.0点であり、やや高かった。知識・技能の平均点は4.8点、思考・判断・表現は3.3点であり、思考・判断・表現の平均点の方が知識・技能の平均点より低かった。知識・技能の評価は、生徒の意見が教科書で学習した内容と関連したものであるか、及び生徒が発話した英語の正確さについて評価したものである。この評価結果を考慮すると、比較的多くの生徒が、この評価項目について目標を達成できたと言える。

思考・判断・表現の評価においては、五つの異なる観点について意見及び具体例が述べられている場合は6点が与えられた。6点が与えられた生徒は、5名のみであった。その5名は流暢に自分の意見を論理的に述べることができている。多くの生徒は、三つか四つの異なる観点について自分の意見及び具体例を述べることができている、3点が与えられた。

主体的に取り組む態度については、全員に満点が与えられた。グループによって、ディスカッションの雰囲気に差が見られたが、一人一人の生徒が、主体的に発言を行い、ディスカッションに参加する姿勢を見せていた。

【資料3 JTEとALTの評価結果の詳細】

<出席番号順>

No	Knowledge		Cognition		Attitude	
	JET	ALT	JET	ALT	JET	ALT
1	3	3	3	3	3	3
2	6	6	6	3	3	3
3	3	6	6	6	3	3
4	3	3	3	3	3	3
5	6	6	6	6	3	3
6	6	6	3	3	3	3
7	6	6	3	3	3	3
8	6	6	3	3	3	3
9	3	3	3	3	3	3
10	3	3	3	3	3	3
11	6	6	1	1	3	3
12	3	6	3	3	3	3
13	6	6	3	3	3	3
14	3	6	3	3	3	3
15	3	6	3	3	3	3
16	6	6	3	6	3	3
17	3	3	3	3	3	3
18	6	6	6	6	3	3
19	3	3	3	3	3	3
20	3	3	1	1	3	3
21	6	6	3	3	3	3
22	6	6	1	1	3	3
23	3	3	3	3	3	3
24	3	6	3	3	3	3
25	6	6	1	1	3	3
26	6	6	3	3	3	3
27	3	3	1	1	3	3
28	6	6	6	6	3	3
29	6	6	6	6	3	3
30	3	3	3	3	3	3

【資料4 評価の最終得点結果】

<合計の多い順>

	知・技 思・判・表 態度			合計
	知・技	思・判・表	態度	
1	6	6	3	15
2	6	6	3	15
3	6	6	3	15
4	6	6	3	15
5	6	5	3	14
6	5	6	3	14
7	6	5	3	14
8	6	3	3	12
9	6	3	3	12
10	6	3	3	12
11	6	3	3	12
12	6	3	3	12
13	6	3	3	12
14	5	3	3	11
15	5	3	3	11
16	5	3	3	11
17	5	3	3	11
18	6	1	3	10
19	6	1	3	10
20	6	1	3	10
21	3	3	3	9
22	3	3	3	9
23	3	3	3	9
24	3	3	3	9
25	3	3	3	9
26	3	3	3	9
27	3	3	3	9
28	3	3	3	9
29	3	1	3	7
30	3	1	3	7
平均	4.8	3.3	3.0	11.0

## イ 考察

本実践の主たる目的は、生徒の社会的な話題についてやり取りする力を向上させることである。ここでは、生徒の英語力に焦点を当てて、パフォーマンステストの評価結果を考察する。評価の結果によると、論理的に意見を述べるために必要な知識及び技能の評価の平均点は高く、6点が与えられた生徒は20名いた。また、3点が与えられた生徒は10名で、1点が与えられた生徒はいなかった。評価者が内容を理解できない語彙や表現を多用した場合、1点が与えられる。よって、知識及び技能の評価結果を踏まえると、一般的に難しいと考えられる社会的な話題に関して、ディスカッションを成立できるほど十分な英語による発信能力が、多くの生徒に備わっていることを意味する。ただし、この英語による発信能力は、パフォーマンステストの直前の学習だけで養われるものではない。日々の授業だけでなく、授業外での生徒の自主的な学習の成果が実を結んだのであろう。

次に、生徒がどれだけ広い観点から、自分の意見を述べられたかについて考察する。論理的かつ説得力のある主張をするためには、多角的な視点に立って、理由や具体例を述べることが重要である。思考・判断・表現における評価結果【資料4】によると、五つ以上の観点から意見を述べていた生徒（6点が与えられた生徒）が5名、三つか四つの観点から意見を述べられていた生徒（3点か5点が与えられた生徒）が20名、1点が与えられた生徒も5名いた。6点が与えられた生徒の英語はかなり流暢であった。その中の3名は、英語検定準1級を取得しているもので、6点の評価結果は妥当であろう。一方で、社会的な話題に対して英語でやり取りすることを苦手とする生徒が、三つまたは四つの観点から意見を述べることができたという点に関しては、意見を述べる力の向上において、本実践から一定の効果が得られたと言えるのではないだろうか。しかしながら、思考・判断・表現の結果において、1点が与えられた生徒が6名いた。彼らは、複数回にわたり考えを発言していたが、その内容が一つまたは二つの観点からしか述べられていなかった。彼らには、事後指導として適切なフィードバックと支援を与える必要がある。

最後に、主体的に取り組む態度の評価結果に注目したい。本実践の目的は、英語でやり取りする力を育成することである。評価の最終結果【資料4】によると、主体的に取り組む態度において全員が満点であった。この結果から、生徒全員が、自分の意見を述べるだけでなく、相手の意見に応じて自分の意見を述べたり、相手に質問したりして、やり取りを継続しようとしていたことがうかがえる。具体的には、“I understand ~’s idea... I also think...”などの表現を用いて相手に同意したり、“I don’t agree with ~’s idea. I think...”と反論したりしていた。また、さきほど述べたように、自分の意見を言えずにいるメンバーに対しては、質問を投げかけて発言させようと試みる生徒もいた。これらの状況から判断すると、生徒の主体的に取り組む態度を、本実践を通して達成できたと言えるのではないだろうか。ただし、全員が満点であったことに関しては、生徒の主体性をよりいっそう伸ばしていくためには、本実践で設定した目標及びルーブリックに改善の余地があると考えられる。

### (6) パフォーマンス評価に関するアンケートの結果と考察

#### ア アンケート結果

パフォーマンステストを終えた後、生徒にアンケート【巻末資料2】を実施した。【資料5】は、アンケート結果の全体の傾向を示している。この結果は、ディスカッションが楽しいと感じた生徒が多かったことに加え、今後もディスカッションを練習していきたいと思う生徒が多いことを示している。パフォーマンス評価の内容が難しかったと感じた生徒は、半数より少なかった。また、パフォーマンス評価がよくできたと感じた生徒の数も、半数より少なかった。

【資料5】 事後アンケート結果 N=26（4名が未提出）

	そう思う			そう思わない
	4	3	2	1
パフォーマンステストは良くできた	3	10	9	4
ディスカッションの内容は難しかった	3	8	12	3
健康についてのディスカッションは楽しかった	15	11	0	0
英語でのディスカッションを今後積極的に練習したい	15	9	1	1

【資料6】は、アンケートの「パフォーマンス評価でのディスカッションを通して学んだことを書いてください」に対する回答の一部を抜粋したものである。自由記述では、さまざまな意見が見られたが、多くの生徒が、ディスカッションに対して前向きな反応を示していた。相手に対して分かりやすい表現を使うことの大切さなど、言語自体に対しての気付きが得られたり、エクササイズの内容について認識の深まりがあったりと、さまざまな面で学びにつながったと思われるコメントが多く見られた。

### 【資料6 事後アンケートにおける自由記述の例】

- ・健康については、人それぞれ向き不向きがあり、エクササイズとバランスのよい食事どちらがよいか選び、自分に向いている方を実践していくことが大切だと思った。
- ・3人だと人数が少ない分、話す機会が多くなるので、たくさん話しているうちに緊張がとけていった。
- ・フリータイムの8分は、最初は長いと感じたが、実際はすぐに時間が過ぎてしまい、もっと話したいくらいだった。
- ・伝える力が最も身に付いた。相手に自分の主張した事を伝えるために、比較的簡単な単語に言い換えたりした。アドリブで返答する必要があるので、言いたいことを脳で英語に返還して伝える能力が養われた気がする。
- ・健康を維持する方法、会話をつなぐことの大切さ。
- ・ディスカッションの楽しさ、準備をすること（情報を集る、スピーキングの練習など）や本番のドキドキ感など全てが楽しかった。また、久しぶりに英語でみんなと話し事ができて良かったと思う。
- ・文法単語が不安でも、黙ってしまうことはもったいない。伝えようとすれば相手も分かってくれるので、まずは話すことが大切だと思った。
- ・いかに簡単な言葉で自分の伝えたいことを相手に分かってもらえるかが大切だと学んだ。また、相手の意見をよく聞き、それに対して的確な質問をすることによって、話がより深まるため、質問する内容もとても重要だと学んだ。
- ・相手の意見をメモすることが大切だと思った。
- ・今回の議題であったレギュラーエクササイズとバランスダイエットでは、どちらがよりよいかは両方のバランスが大切だと改めて分かった。
- ・背景知識の量は大切だと思いました。準備するにあたり、本文内の具体例以外の例を調べました。誰かと意見交換をするときには相手に伝わりやすい表現を使って話していかなければならないことを学んだ。
- ・私のグループは全員意見が同じだった。その中で一人教科書の写真を使って自分の意見を言っている人がいて、とても分かりやすかった。
- ・考えているうちに、頭が混乱してしまい、頭が真っ白になってしまった。
- ・相手の意見を踏まえて、自分の意見を考えるのは難しかったけど面白かった。フリーディスカッションでいかに自分から話しに行くのが大変なのか分かった。
- ・やはり英語はどの技能も練習しないと上達しないなということです。スピーキングは全くやってきてなかったので、頭に英語が浮かんでこないし、文法はぐちゃぐちゃさすがにこんなのでは、いざ英語をしゃべろうと思ったときに上手く使えないなということを知りました。

## イ 考察

事後アンケートの結果を分析すると、パフォーマンステストが生徒の学習動機を高めるきっかけになったのではないかと考えられる。例えば、事後アンケートの結果【資料5】より、「健康についてのディスカッションは楽しかった」「英語でのディスカッションを今後積極的に練習したい」の項目に対して、ほとんど全員が肯定的な反応を示している。自由記述【資料6】からもディスカッションに対して前向きな反応が数多く見られた。生徒の活動を観察した結果からも、事前準備の段階で、ノートに自分の意見を整理し入念に準備をする様子が見られた。日頃は英語学習に対して後ろ向な生徒が、本実践では前向きに取り組んでいる姿も見られた。大半の生徒が、相手の意見を聞きながら、メモをとったり相づちを打ったりしながら、相手とのやり取りを継続するように努力していた。これらの状況から、パフォーマンステストが生徒のディスカッションに対する学習動機を高める上で効果があったのではないかと考える。

一方で、自己評価が低い生徒が13名いたという結果に留意したい。事後アンケートの結果【資料5】によると、「パフォーマンステストはよくできた」の質問に対して、1を選択した生徒が4名、2を選択した生徒が9名いた。これらの生徒が、具体的にどのようなことが理由で自己評価が低かったのかについては、統計的なデータだけで確認することが難しい。生徒一人一人に対するきめ細やかなフィードバックが必要であると感じている。

## 6 成果と課題

本実践を通して得られた成果は主に2点ある。一つ目は、社会的なトピック（健康）に関して、自分の意見を論理的に述べることを学習する機会が得られたことである。論理的に英語で意見を効果的に伝えるためには、日本語とは異なる英語特有の論理構成を学ぶ必要がある。本時の事前指導では、OREO（Opinion-Reason-Evidence-Opinion）という論理の考え方を踏まえ、英語を論理的に話すトレーニングを行い、その効果が見られた。OREOを用いた指導は、授業や英語の検定試験の対策などにおいて指導したことはあるが、その指導の機会は少ないのが実情である。今後も、スピーキング指導やライティング指導のさまざまな場面で、OREOを活用した指導を実践していきたい。

二つ目は、英語でやり取りを継続する技術に向上が見られたことである。実際のところ、2年前に本実践と同じ国際理解コースの生徒を対象に、ディスカッションのパフォーマンステストを実施した。その際は、相手と自然な流れで受け答えすることができない生徒が多かった。しかし、今回のディスカッションでは、相手の意見に対して、“I understand ~’s idea... I also think...”などの表現を用いて相手に同意したり、“I don’t agree with ~’idea. I think...”と反論したりしてから、自分の意見及び具体例を伝えたり、また相手の意見を深めるために質問を投げかけたりする様子が随時見られた。私は、英語によるやり取りの向上は常に実践を通して得られるものだと信じている。アンケート結果からも、今後も積極的に練習を継続したいという声が多く見られる。これからの実践において、さまざまなテーマに関してディスカッションできる機会を生徒に提供していきたい。

最後に、本実践の課題として、パフォーマンス評価の評価手法を再検討する必要があると感じた。本実践では、試験の最中に評価せず、後日、音声データとディスカッションの様子を記録した映像を用いて評価した。全ての生徒のパフォーマンスを評価するために4～5時間を費やした。丁寧な評価は、評価の信頼性の向上に貢献するであろう。しかし、今後もパフォーマンステストを継続していきたいと思うが故に、評価の効率性を改善することは不可欠である。パフォーマンス評価の効率性の改善に関しては、教育の分野において多くの実践がされつつあるICTの活用が有効ではないかと考え

ている。今後、ディスカッションを効率的に評価できる新たな手法を模索していきたい。

## 7 参考文献

- 愛知県教育委員会（2016）「高等学校における多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」
- 愛知県総合教育センター（2017）『授業の手引 高等学校英語』
- 植田一三，妻島千鶴子（2009）『英語で意見を論理的に述べる技術とトレーニング』 ベレ出版
- 国立教育政策研究所（2019）『学習評価の在り方 ハンドブック 高等学校編』
- 国立教育政策研究所（2020）『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』
- 田中武夫，高木亜希子，藤田卓郎，滝沢雄一（2019）『英語教師のための「実践研究」ガイドブック』 大修館
- 文部科学省（2018）『高等学校学習指導要領解説』
- ELEC 同友会英語教育学会（2008）『中学校・高校 英語 段階的スピーキング指導 42』 三省堂
- Brown, J. D. (2012) Developing, using, and analyzing rubrics in language assessment with case studies in Asian and Pacific languages. National Foreign Language Resource Center, University of Hawaii at Manoa.

Discussion

“Which is more important for good health: a regular exercise program or a balanced diet?”

Your idea	( )'s idea	( )'s idea
Free Discussion		



グループ	名前	論理的思考	協調性・積極性	コメント
グループ 1	1	5・3・1	5・3・1	
	2	5・3・1	5・3・1	
	3	5・3・1	5・3・1	
	4	5・3・1	5・3・1	
	5	5・3・1	5・3・1	
グループ 2	6	5・3・1	5・3・1	
	7	5・3・1	5・3・1	
	8	5・3・1	5・3・1	
	9	5・3・1	5・3・1	
	10	5・3・1	5・3・1	
グループ 3	11	5・3・1	5・3・1	
	12	5・3・1	5・3・1	
	13	5・3・1	5・3・1	
	14	5・3・1	5・3・1	
	15	5・3・1	5・3・1	
グループ 4	16	5・3・1	5・3・1	
	17	5・3・1	5・3・1	
	18	5・3・1	5・3・1	
	19	5・3・1	5・3・1	
	20	5・3・1	5・3・1	
グループ 5	21	5・3・1	5・3・1	
	22	5・3・1	5・3・1	
	23	5・3・1	5・3・1	
	24	5・3・1	5・3・1	
	25	5・3・1	5・3・1	
グループ 6	26	5・3・1	5・3・1	
	27	5・3・1	5・3・1	
	28	5・3・1	5・3・1	
	29	5・3・1	5・3・1	

【巻末資料3 実際のディスカッションのやり取りの例】

**T: teacher A: student A B: student B C: student C**

**T: Now, let's start. You are going to discuss the question, "Which is more important for good health: a regular exercise program or a balanced diet?". OK? First, each of you will tell your own opinion. Then, you will have an 8-minute-free discussion. Finally, you will tell us your opinion again. OK? So, first, A. Please start.**

A: I think regular exercise is more important for our health. Uh...there are some of the reasons. Firstly, we can reduce...uh...our risk of serious illness by 50% by doing regular exercise. And, we can increase life expectancy, So, that's why it is more important for good health.

**T: Thank you. Then, B. Please tell.**

B: Uh...I think that regular exercise is more important than...uh...than...a balanced diet. I have two reasons for this. First of all, it is good for body health. You can reduce the risk of chronic disease such type-2 diabetes, some cancers, stroke. And uh...yeah, so, and also you can ...avoid, you can avoid the early death by 30 %. So, I think a regular exercise is beneficial for body health. Secondly, regular exercise is also good for our mental health. Uh...for example, you, you ain't jog 2 kilometers, every day for 2 weeks. You feel a sense of achievement...uh...whist the target. In contrast, when you just keep having a balanced diet, some people might feel frustrating ...because they have to control how much they eat. Uh...uh...in terms of bala...uh...regular exercise, you don't need to control how much you eat...you don't... which means you don't feel irritated and stressful. Therefore you can feel happy... enjoy... joyful, will also improve your quality of life.

C: I think regular exercise program is more important for good health. I think most important thing is uh... uh...easy to continue the program. Firstly, I think that it is cheap... I think that cheapest exercise is running. You just need to ...you just need pair of shoes. Of course, it is free to go running in the park. Secondly, I ...uh...secondly I think ...uh it is easy to continue because playing sports are easy to make friends for have same purpose and same goals if you feel difficult to continue you can get friends and help we can much...much schedule and cooperate to do exercise. So that's why it is important for good health. That's all.

**T: Now, I really enjoyed hearing your ideas. You will have 8 more minutes to discuss the question. OK? I will not say anything about this. All right? Now, please start.**

B: Why did you not choose a balanced diet? What do you think a balanced diet advantage? What is beneficial about a balanced diet?

C: Uh..... (being silent) We need to cook in...we need to cook by ourselves. It is very uh...not...(being silent)

A: Can I go first? I think it's border, bolder(?). It think it's stressful uh...choose food our health...I want to eat what I want to eat. So, I didn't choose that...uh... regular exercise has more ...uh...good points. I didn't say before...uh...but... we can improve self-esteem by doing regular exercise. So, uh...regular exercise has ... Sorry has good points not only ...sorry physical health but also uh...mental health. So it is very important for our health.

B Uh... in my opinion. As I said, as I said that uh...a regular exercise is good for mental health. I would like to argue that uh...some people try to control their diet and try to eat smaller portion. Some people say that they tend to wan...tend to ...eager to eat extra food after eating certain amount of food. And in order to get some satisfaction, so it is... uh...it will result in worse condition of their health...so... uh... I think... uh.. balanced diet might be uh.. might be might cause opposite effect of diet of ...uh...be stay health. Yeah...

A: I agree. I said that it's stressful to choose food. It contributes to more stress. It's harmful for our health to our balanced diet.

B: What do you think, C?

C: I think the food delivery service is more commonly these days. Many young people like order junk food. So it uh...become difficult to eat balanced diet.

(Being silent)

B: Uh...about young people I think there is also reason why I chose regular exercise might be because uh.. young people are not taught what to eat by their parents... I think some parents just give food what their children want ... for example, sweet and some junk food... so, uh... uh...young people may have big uh... effect from their parents.

**T: You have one and a half more minute.**

A: I want to ask you...what is the importance of a regular exercise when we do regular exercise ...what do we have to be careful about?

B: Can I go first? Uh...before starting doing exercise ...I think you should be careful about getting injured. For example, when you jog in the street, you should be careful about the street and you have to tie your shoes tight in order to avoid from injured.

A: What do you think C?

C: (Silent) I think make a goal is realistic. Um...(Silent)

T: OK. Now, time is up. But finally, I would like to hear your opinion again. OK?  
Please tell us your opinion based on the discussion. So, B.

B: I strongly believe that regular exercise is uh...more important than a balanced diet. Because uh... balanced diet but ... a balanced diet might be difficult for some people because you have to choose what to eat by themselves. Young people are not perfectly taught how...what to choose... uh...and secondly, uh... secondly it is ... regular exercise are good for our mental health. You can improve your self-esteem, improve your quality of your life. Of course you can stay in safe. And so.. there is more effective way to keep your health uh... than a balanced diet.

C: I think regular exercise is more important. Um... (being silent). Um... (being silent).

I think um... (silent). our health problem will... uh... improve at first... uh...uh... (being silent)

**T: OK. All right, thank you. A.**

A: I think regular exercise is the most beneficial way to be good health. We can improve both mental health and physical health. So I think it is important. But we have to be careful about a balanced diet. So, I think we should change our aware for what we are eating.

**T: OK. That's all for today's discussion. Thank you for your corporation.**

A, B, C: Thank you.

( 約 18 分)